

日本橋モラロジー事務所 概論研究会（10）

道徳実行の因果律

はじめに・ ・ ・ そのとおり

- 善因善果、悪因悪果
- 最高道徳は
 - 神仏の心を継承して、万物を生育する高度な道徳的精神を日常生活で実行することが、有効である！
――との結論に到達した
 - 精神を中心においた、最高道徳の実行によって、初めて偉大な効果が発揮されるということが明らかになった。

誰が？誰に？

道徳実行の因果律

- **因果律の理解と人生観の確立**
 - 精神と行為の因果律
 - 世界諸聖人の説く因果律
 - 因果律と善意の標準
- **道徳実行に要点と効果**
 - 動機・目的・方法と効果
 - 結果の受けとめ方と効果
 - 時代、時期、場所への配慮
- **運命を改善する心構え**
 - 科学的な安心立命
 - 唯心的な安心立命
 - 社会文化や自然環境の改善
- **因果律を確信することの効果**

因果律の理解と人生観の確立

・精神と行為の因果律

- ・いまあるのは、過去からの精神と行為が原因になっている
- ・今後の人生は、今からの自分の精神の改善によってのみ改善される
- ・われわれの精神は、感じること・判断すること・決断すること、意志を表明すること・愛すること・育てること・感謝すること・祈ること・嫌うこと・憎むこと・妬むこと・さげすむこと、などからなる
- ・日常、様々な精神の積み重ねが結果となって、現れる
- ・微善の累積&小悪の累積などは日常茶飯事、

因果律の理解と人生観の確立（2）

・世界諸聖人の説く因果律

・孔子

- ・人はどんなことに満足しているかをみれば、心の中身、正確がわかる

・釈迦

- ・すべてのものを導くのは心である。清らかな心で、話し語らえば、影が形になって離れないように、楽しみはその人について回る

・ソクラテス

- ・幸せになるには正しいことは何かをよく知り、行為を正しく導く知恵を養うことが肝要である

・イエス

- ・人を汚すものはなんでしょう？それは人間の内面から出てくるもの、つまり心の中にあるさまざまな悪い考えである

・日本文化に見る因果律の考え

- ・病気・災厄は自己の罪・不浄である。禊ぎ・お祓いによって身と心を清めることを習慣化
- ・人々は精神を神の心に一致するよう改めは、穢れが清められ、健康・幸福となると信じる
- ・個人のみならず、一族・地域社会・国家等にも当てはめ、集団の長が罪・穢れを負う

因果律の理解と人生観の確立（3）

- 因果律と善意の標準

- 道徳の評価について

- 1. 動機主義——動機が純粹でありさえすれな良い
 - 2. 結果主義——結果さえよければすべてよし
 - 3. 総合の立場——動機、目的、方法、実行中の精神、結果およびその意味づけすべて

- 道徳実行の効果のあらわれ方

- 短期（即時）的にあらわれる場合
 - 長期的にあらわれる場合
 - 長期の効果は、短期的な効果の積み重ね！

道徳実行に要点と効果

- **動機・目的・方法と効果**
 - 過去の過失や努力不足に対する贖罪をし、恩恵に対する感謝をし、
 - 無理のない範囲で、周囲に配慮しつつ、道徳的な活動を行う
- **結果の受けとめ方と効果**
 - 良い結果が出れば、「人や社会、神仏のおかげ」
 - 悪い結果が出れば、自己の反省と品性向上の機会と捉える
- **時代、時期、場所への配慮**
 - 社会や、時間によって、道徳に対する価値観が変わる
 - 一定の自己の価値観と他の価値観をわきまえて行動する。
 - 結果が出ない時は、その原因を存分の分析して+自己反省して、継続する

運命を改善する心構え

- **科学的な安心立命**
 - 安心とは、「一定の予測がつき、見通しをたてることができる」心の状態
 - 立命とは、目標をたて、迷うことなくそれに向かって進む生き方
 - 科学的とは・・・原因を明確にし、問題を解決する手法。それには限界？
- **唯心的な安心立命**
 - 「絶対絶命」に立った時に必要な時の『覚悟』
 - 過失贖罪型の場合、深く自己反省するのみ
 - 「神仏からのありがたい恵み」と捉え、新しい生き方に邁進する
- **社会文化や自然環境の改善**
 - 最高道徳の実行により、あらゆる角度に関与することができ、その感情などを「改善」「変化」などに関わることができる
 - 自身は精神上、偉大な効果が得られる。

因果律を確信することの効果

- 善因善果、悪因悪果のいずれでも、それを実行すると、
必ず、結果がかえってくる
- その原理を知って、過ごせば自ずと道德実行の勇気が湧く
- 個人として・・・新たなる創造、新たなる出会い、苦難の意味転換であり、全てを善化する品性の完成である
- 集団では、．．． 存続・発展と平和、個性豊かな文化の創造である。

以上

- 長い間ありがとうございました。
- 個人として、「大変勉強になりました」